

略歴および事績

いわ さき しゅん いち
岩 崎 俊 一

生年月日 大正15年8月3日（87歳）

〔略歴〕

| | | |
|-------|-----|-------------------|
| 昭和24年 | 3月 | 東北大学工学部通信工学科卒業 |
| 昭和39年 | 6月 | 東北大学電気通信研究所教授 |
| 昭和61年 | 4月 | 東北大学電気通信研究所所長 |
| 昭和62年 | 6月 | 日本学士院賞 |
| 昭和62年 | 11月 | 文化功労者 |
| 平成元年 | 4月 | 東北工業大学学長 |
| 平成11年 | 7月 | 仙台市特別市政功労者表彰 |
| 平成15年 | 11月 | 瑞宝重光章 |
| 平成15年 | 12月 | 日本学士院会員 |
| 平成16年 | 9月 | 東北工業大学理事長 |
| 平成25年 | 11月 | 文化勲章 |
| 平成26年 | 4月 | ベンジャミン・フランクリン・メダル |

〔事績〕

コンピュータや映像記録装置などに使われる磁気テープや磁気ディスクは、情報の蓄積や伝達に不可欠なものとなっているが、情報量の伸びと共にその大容量化が大きな課題となっていた。

先生は、電子工学の分野において、磁気記録方式の高密度化について研究を進め、磁気テープや磁気ディスクの大容量化に関して、高性能金属微粉末テープ（メタルテープ）を発明したほか、磁気記録理論の確立とともに記録容量の格段に大きい垂直磁気記録方式を世界で初めて実現し、電子工学及び電子工業の発展のみならず、今日の情報社会の発展に多大な貢献をされた。現在、コンピュータなどの磁気ディスクは全て垂直磁気記録方式に置き代わっている。

このような功績に対し、昭和62年に日本学士院賞、文化功労者を受章されているほか、平成15年に瑞宝重光章、平成25年に文化勲章、平成26年にベンジャミン・フランクリン・メダルを授与されるなど、様々な表彰を受けられている。

このように、先生の功績は卓越であり、仙台市民の大いに誇りとするところである。